



-2022...



大妻女子大学の年次総会で
SDGs講演 2022.12



つたえる、つながる。
ニッセイエブロ株式会社

私たちの青写真

— みらいず —

サステナビリティ
Eblo Report 2022



当社は、国連グローバル・コンパクトへの参加(2010年)を
起点に、NPOの設立や大学と協働・連携し、サステナブル
社会実現に向けて貢献しています。

Archives/2010



ニッセイエブロ株式会社
代表取締役社長

亀田 耕平

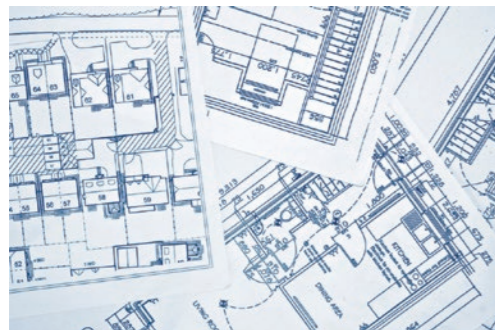
めまぐるしい時代の変化に対応する
為、業態も進化しながらニッセイエ
ブロとしての歴史を紡いできました。
またその中で働き方や日常生活につ
いての考え方も多様性を増し、対応
することが求められてきました。
そう遠くない未来である創業100年
を目指すサステナブルな企業である
為には、世代や立場を超えた様々な
価値観に触れ、理解し、共に成長し
ていくことが不可欠だと考えます。
そんな【青写真(みらいず)】を全
てのステークホルダーと一緒に描い
ていければ幸いです。

1944 Our Sustainability >>

1944年、 日本青写真工業社として神田で発足。戦後の復興に向けて建設業が発展することを見越した創業者は建築図面、機械図面で多用された「青写真」から事業をスタートしました。

この青写真技術により社会の発展を望み、多くの人が豊かな人生を享受できることを願いながら。

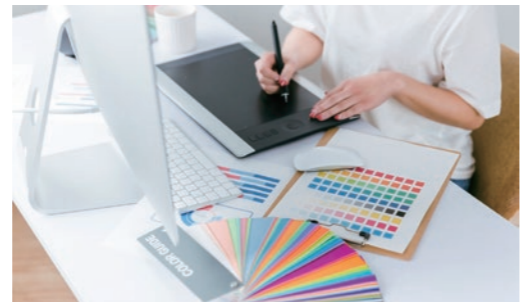
それは今以て社是である「我々は仕事を通して成長し、仕事を通して、豊かで充実した人生を送ります」に通底する私たちの理念です。



その後、 折々の社会の変化に対応しながら、イノベーションを繰り返し、1989年（平成元年）現在の社名「ニッセイエブロ株式会社」に変更されました。

「可能にする」「有能な」の意味を持つ“able”のエスペラント語を固有名詞化した「Eblo（エプロ）」を社名に吹き込み、「さまざまな可能性にチャレンジする会社でありたい」という私たちの願いが込められています。

今世紀に入って商品・サービスの普及も一巡し、汎用品化（コモディティ化）も進む中で、競合商品間の差別化が難しい時代に入ってきました。



2010年、 国連グローバル・コンパクトへ署名。「環境」「労働」「人権」「腐敗防止」を起点に個別の社会課題解決に焦点を当てた活動を大学のゼミ生と開始しました（1学科3名履修）。

また、本業の傍ら、新たな試験的な取組みとして2010年よりNPO創設に参画。中小企業と大学、学生、フリーランスの方々とオープン・イノベティブに取り組んでいます。



2022

2030

2019年には 武蔵野大学の全学科共通の学外学修授業と認定され、2022年現在、多学科生が受講する場となりました（9学科15名履修3名の留学生）。
エコプロ出展を毎年終点とし、3ヶ月毎週研鑽（2020年からはオンライン授業）。

これにより多様性豊かなフラットな議論が学生と私達の間で行われています。学生間でも刺激のある機会に進展、これら複眼思考により「Z世代目線」によるニッセイエブロへの様々な提案が活かされています。

